

2020 年 1 月 20 日

登録会員各位

2020 東京パラリンピック競技大会の日本代表推薦選手選考の改定について

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

国際パラリンピック委員会（以下 IPC ）より 2020 東京パラリンピック競技大会の実施種目、出場資格ランキング枠とハイパフォーマンス割当枠におけるハイパフォーマンス標準記録が公表されましたので、2019 年 7 月 1 日付公表の選手選考に関して、一部内容を以下の表に示すとおり改定します。

記

改定前	改定後
P2. ③ハイパフォーマンス割当枠該当選手 P3. ④ハイパフォーマンス割当枠該当選手	③ハイパフォーマンス 標準記録突破 選手 ④ハイパフォーマンス 標準記録突破 選手
2.選考基準 1) トラック&フィールド種目 P2. ②出場資格ランキング枠該当選手 WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games - 12 month ranking (2019 年 4 月 1 日～2020 年 4 月 1 日 以下 出場ランキング) 6 位以内で、2019 世界パラ 4 位以内と 2019 WPA マラソン世界選手権大会 4 位以内の該当選手を除き上位 2 名であること。	2.選考基準 1) トラック&フィールド種目 ②出場資格ランキング枠該当選手 WPA Rankings - Tokyo 2020 Paralympic Games - 12 month ranking (2019 年 4 月 1 日～2020 年 4 月 1 日) 6 位以内の者。ただしマラソンは除く。
2.選考基準 1) トラック&フィールド種目 P2. ③ハイパフォーマンス割当枠該当選手 前述の割当方式で出場枠を獲得していない選手で、2018 年 10 月 1 日～2020 年 6 月 7 日までの WPA 公認大会において、ハイパフォーマンス標準記録（より高い標準記録）を突破	2.選考基準 1) トラック&フィールド種目 ③ハイパフォーマンス 標準記録突破 選手 2018 年 10 月 1 日～2020 年 6 月 7 日までの WPA 公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手のうち、前述の全割当方式において、出場枠未獲

<p>し、かつ IPC より指定された選手であること。 ＊WPA は 2019 年 10 月まで(日付未定)にハイパフォーマンス標準記録(より高い標準記録)を発表予定である。</p>	<p>得の者で東京大会 8 位入賞の可能性のある選手を対象に、選考委員会にて推薦順位を決定する。</p> <p style="color: red;">したがって、すべてのハイパフォーマンス標準記録突破選手が 2020 東京パラリンピック競技大会に出場できるものではない。</p>
<p>P3. 3) マラソン(車いす)</p>	<p>P3. 3) マラソン種目(T11/12を除く)</p>
<p>2.選考基準 3) マラソン(車いす) 種目 P3. ④ハイパフォーマンス割当枠該当選手 前述の割当方式で出場枠を獲得していない選手で、2018 年 10 月 1 日～2020 年 6 月(日付未定)までの WPA 公認マラソン大会において、ハイパフォーマンス標準記録(より高い標準記録)を突破し、かつ IPC より指定された選手であること。</p>	<p>2.選考基準 3) マラソン種目(T11/12を除く) ④ハイパフォーマンス標準記録突破選手 2018 年 10 月 1 日～2020 年 6 月 7 日までの WPA 公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手のうち、前述の全割当方式において、出場枠未獲得の者で東京大会 8 位入賞の可能性のある選手を対象に、選考委員会にて推薦順位を決定する。</p> <p style="color: red;">したがって、すべてのハイパフォーマンス標準記録突破選手が 2020 東京パラリンピック競技大会に出場できるものではない。</p>